

社会

豊橋・さくらピアで3・11を忘れない集い

気象予報士の多々良秀世さん講演

「四季の天気と災害」テーマに

豊橋市東新町のさくらピア（市障害者福祉会館）で12日、東日本大震災があった「3・11を忘れない集い」が開かれた。講師の日本気象予報士東海支部の多々良秀世さんが、「四季の天気と災害」をテーマに講演した。21人が参加した。多々良さんは昨年

6月、東三河を襲った台風2号に伴う集中豪雨を取り上げ、データを使って当日の気象状況や被害状況などを話した後、大雨時の避難について情報の収集方法や注意点などを解説した。

また、「今年の夏も暑くなりそう」という見通しを示し、熱中症が起きる条件や予防方法、応急処置などを説明。防災情報について「豊橋ほっとメールやハザードマップ、気象庁ホームページなどを参照してほしい」と呼びかけた。

主催した豊橋障害者（児）団体連合協議会の山下徹会長は、「地震の予知は難しいが、台風や大雨などは予測でき、データも蓄積されている。ハザードマップを活用し、自分の住む場所は何が危険なのか前もって勉強してほしい」と話した。

3・11を忘れない集いは、コロナ禍の2020年を除き、15年から毎年開かれており、防災に関する講演などが行われている。

（原田ひとみ）



（多々良秀世さん）